

# 5Sによる製造現場の改善

支援機関 愛媛県よろず支援拠点(公益財団法人えひめ産業振興財団)

支援内容 5S活動の推進と定着

支援区分 その他(製造現場の改善)

## 平和建材産業株式会社

### 事業者概要

社名/平和建材産業株式会社  
 代表者名/代表取締役社長 丸石 裕成  
 業種/製造業(コンクリート製造)  
 所在地/八幡浜市保内町川之石1-236-1  
 資本金/10,000,000円  
 設立/平成2年  
 従業員数/12名



平和建材産業株式会社

### 支援に至る経緯

国内の建設業の回復基調に乗りコンクリート製品は出荷が伸びていることや、昨年競合先の倒産に伴い営業先を引継いだこともあり、供給が追い付いていない状況である。

ただし、建設業界の動向については先行きが不透明であるため、現在の需要に対応するための設備投資をすることには不安がある。そこで、大掛かりな設備投資をせず生産性を向上させられないかと相談があった。

現状を確認したところ、小規模な事業所であり、比較的多品種小ロット製品の生産を行っていた。そのため、設備投資というよりはむしろ人的な改善を進めることで生産性の向上を図れる余地があることが判明した。さらに、現状のヒアリングをした結果、製品の生産性向上や品質向上の意識を高める必要があることを確認した。

生産性向上や品質向上の意識を高めることについては、代表取締役社長である丸石裕成氏(以下、「丸石氏」という)の考える方向性と合致したため、当社規模で実現可能な改善活動として、生産現場における5S活動を推進していくことから始めることとした。

### 支援内容

製造現場の改善を行う上で社員の品質意識の向上と生産性向上を図るために5S活動推進と定着を図る活動支援を提案し、公益財団法人えひめ産業振興財団の専門家派遣制度を活用し製造業の5S活動に長けた畠中アドバイザーを派遣し支援することとした。

5S活動を推進するにあたり、当社の専務取締役である鎌田優氏を委員長とする5S活動委員会を設置し5S活動に取り組むこととし、まずは基本的な要・不要の分類を行うこととした。

## 支援の効果

毎朝朝礼時の声掛け活動、週1回の清掃活動を通じた「整理」、月1回の委員会活動を実施し5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）の第一段階である「整理」が実現され、現在では、事業所内を見ると「現場に釘が1本落ちていても気づく」状態となった。

「整理」がある一定のレベルに達したため、現在は第二段階である「整頓」段階に着手している。

また、今回の改善活動の付帯的な効果が得られた。

- ・従業員が自ら考えて工夫するようになった
- ・挨拶が盛んになり、近隣の事業社や住民の方とのコミュニケーションが増加した
- ・従業員の労働安全に対する意識が高まった
- ・5S委員会とは別に品質管理委員会が組織された

## 今後の展開

現在は第二段階である「整頓」段階を進めている状況である。また、生産性の向上を進めることで、当社の収益性改善にもつなげていきたいと考えている。



【改善前】



【改善後】

## 事業者の声

5S活動を通じて事業所内がきれいになったこともありますが、私の従業員に対する考え方が変わったことが最も大きな成果と考えています。当初は、従業員に新しい事をさせるのは負担を増すだけになり反発を招くのではないかと危惧していました。しかし、実際は、従業員が自ら考えて工夫し行動してくれました。

それなので、今回の支援は、私自身に気づきを与えてくれたことも大きな成果であったと思います。



代表取締役社長 丸石 裕成

## 支援者の声

今回の支援の成功要因は、丸石氏がリーダーシップを発揮された点であると思います。成功させるために先進的に取り組んでいる事業所を自ら訪問しその状況を従業員に報告したり、委員会活動に対する支援を示されたことで、従業員の皆さんが「本気で取り組むんだ！」という意識をもったことであると思います。



ビジネスアドバイザー  
畠中 均